

事業概要シート

施策 1306 水産業の振興

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	“大村の漁師と水産物” あさいち開催事業	新規	予算額	600 千円
事業期間	令和2年度 ~ 令和5年度		国庫支出金	千円
根拠法令要綱等	大村地区浜の活力再生プラン 大村市農林水産振興事業補助金交付要綱		県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	300 千円
			一般財源	300 千円

【事業の目的・概要・対象】

【事業実施期間】 令和2年度から令和5年度まで（4か年事業）

【事業の目的】

漁業経営基盤の強化を図るため、魚価の向上による漁業所得の向上を図るとともに、市民に対し大村産の水産物の魅力を発信する。

【事業の概要】

大村市、漁協及び水産加工業者等を構成員とした大村「あさいち」実行委員会（仮称）をつくり朝市を開催する。

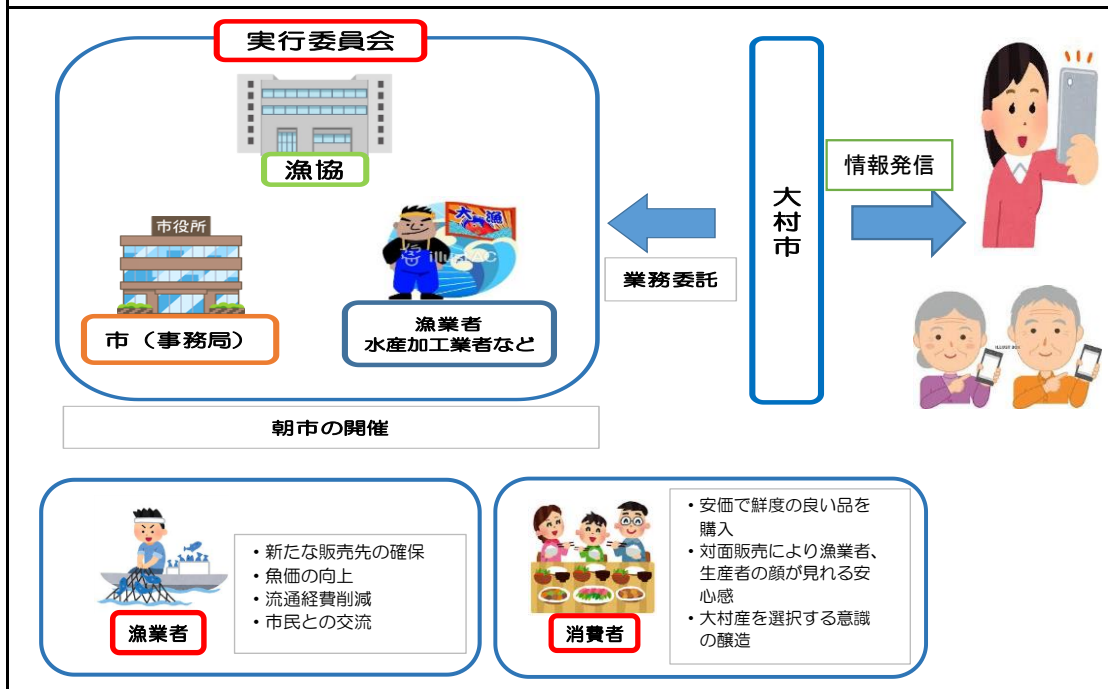
（1）事業主体：あさいち実行委員会（仮称）

（2）事業内容：

- ①漁協施設等を活用した「あさいち」の開催（月に1回の頻度で開催。）
生け簀を活用した活魚の販売
- ②公式チャンネル（youtube等）における「おおむら水産チャンネル」編集
「あさいち」中継による情報発信
映像による「魚のさばき方」の情報発信

（3）開催場所：大村市漁協松原支部施設、馬場先ポートパーク駐車場、ポートレース大村（予定）

（4）事業費（概算）：1,000千円
 （内訳）： 備品（活魚用生簀、トロ箱、陳列ザル、発泡箱、販売台）196千円
 資材（氷、梱包資材、車両使用料）457千円
 情報発信機器レンタル（スマホ・ポケットWi-Fi）347千円
 ※補助額：600千円（補助率3/5）



【背景】

本市における漁業所得は近年減少傾向にあること、また、水産物の出荷先は長崎市や福岡県の市場であり、市民が地元で水揚げされた水産物を購入できる機会が限られている。

このような中、今年度市内の漁業協同組合や県、市などで構成する大村市地域水産業再生委員会が「大村地区浜の活力再生プラン」を策定し、漁業経営基盤の強化に取り組み、所得向上を目指すこととしている。

漁業所得を向上させるためには、魚価の向上と経費の節減が必要であることから、直接販売できる販路の確保と輸送経費の軽減を図るため、「あさいち」の開催を行うこととした。

担当課	産業振興部 農林水産振興課	課長	下玉利 輝幸
担当者	井山 浩太郎	問合せ先	0957-53-4111 内線251

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	朝市開催回数（年間）	計画値 回	—	—	7	12	24
②		計画値					

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	朝市開催にともなう販売額	計画値 千円	—	—	1,100	2,000	3,200
②		計画値					

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	0	0	0	600	827	1,299	2,726
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他				300	413	649	1,362
一般財源				300	414	650	1,364
人件費	0	0	0	2,182	2,182	2,182	6,545
職員(人)				0.30人	0.30人	0.30人	0.90人
時間外勤務(h)							0h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	0	2,782	3,009	3,481	9,271

妥当性 (市の関与)	本事業は、魚価の向上や販路の拡大による漁業経営基盤の強化を図るための取組であり、水産業の振興につながるものであることから、市の関与は妥当である。
有効性 (施策貢献度)	本事業を実施することで漁業経営基盤の強化を図り、水産業の振興に寄与するものであることから、施策貢献度は高い。
効率性 (コスト)	市町振興共同事業（地域特産品需要拡大支援事業）の助成金等を活用し実施する予定であり、財源の確保につとめる。 また、既存事業（漁場環境改善事業）の縮小により、一般財源の確保に努める。

1次評価	漁業経営基盤の強化を図るうえで、魚価の向上と新たな販路開拓への取組は効果的である。
2次評価	1次評価のとおり